

総務市民文教委員会記録

総務市民文教委員会

委員長 田中 陽三

1 日 時 令和4年10月21日（金） 13時25分開会、13時40分閉会

2 場 所 光市議会第1委員会室

3 出席委員 田中 陽三、小林 隆司、河村 龍男、仲小路 悦男、中村 譲、
中本 和行、萬谷 竹彦、森戸 芳史

4 事務局職員 山本 正実、起本 一生

5 説明員

吉本副市長

<総務部・消防担当部>

山岡総務部長、小熊防災危機管理課長、清水入札監理課長

6 議事の経過概要 別紙のとおり

7 その他（傍聴） なし

1 総務部・消防担当部関係分

(1) 付託事件審査

①追加議案第53号 光市防災指令拠点施設建設工事（建築主体工事）請負契約の締結について

説 明：小熊防災危機管理課長 ～別紙

質 疑：

○河村委員

この契約といたしますか、入札について、ゼネコン2社ができなかったと、こういうことなんですが、できなかったことについて、ゼネコンから意見聴取のようなことがありましたですか。

○清水入札監理課長

基本的には、意見聴取というものはしておりません。
以上でございます。

○河村委員

このところ、入札が不調になったりするケースがたくさんあるわけですが、特に、入札参加企業が少ない。今回も2社ということで、ほかにいなかったということにもつながっていますので、できれば、数件の企業が参加できるような入札条件というのは望ましいわけですが、そうはいいながら、こういうやり方をしたときには、なかなかAクラスとか、Bクラスとか、そういうランクの中でいうたら、それに合致するケースが少ないんだろうと思うんですね。

そうすると、数社になるぐらいまで、地域枠を広げてみるとか、そんなことで、やはりある程度の競争が働いたほうが、望ましいのではないのかなと、そのあたりについてはどんなですか。

○清水入札監理課長

委員仰せのとおり、今、建設業者の数は年々減っております。参加できる業者も減ってきておるところでございます。

そういった状況であります。競争性が働くように、要件等を整理しているところでございます。

市内業者の育成等の観点からも、発注機会の確保も含め、引き続き、そういった条件については、精査をしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○河村委員

お願いしておきます。

今のようなやり方をいろいろ検討していただくと同時に、最近、県なんかボランティアの点数みたいなのをつけて、要は、幅の広い入札につながっているような気がしますし、ボランティアをしていただいたら、そっちも何か気持ちのいいものですから、いろいろ工夫をしながら、同じ業者がずっと入札で参加をして、落札をしてということに、極力ならないというような工夫が必要だと思いますので、よろしくお願いたします。

以上です。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

②追加議案第54号 光市防災指令拠点施設建設工事（電気設備工事）請負契約の締結について

説 明：小熊防災危機管理課長 ～別紙

質 疑：

○河村委員

同じことになるんですが、入札参加申込者を募り、参加資格があった2業者ということでございます。要は入札情報の公告で、参加しやすい状況というつくり方はしないんですか。

参加者が数社になるような条件設定をすることはないんですか。

○清水入札監理課長

本電気設備工事の参加の資格につきましては、特定建設工事共同企業体と単体企業、どちらも参加申請ができるような形で公告しておりまして、複数業者が参加できるような状態にして、公告をしております。

以上でございます。

○河村委員

それでは、県内で入札参加資格のある業者というのは、何社想定されたんです。

○清水入札監理課長

電気設備工事で考えたところ、あくまでも想定でございますけれども、共同企業体であれば、5共同企業体。単体企業であれば、7業者の参加が可能であると想定しておりました。

以上でございます。

○河村委員

分かりました。単体でも7件の業者があったけれども、2社しか応募がなかったと、こういうことですので、できるだけ参加しやすいような環境を整えていただけたらと思います。

以上です。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」